

第37回 臨床研究推進啓発セミナー

慶應義塾大学病院臨床研究推進センターでは、安全で適正な臨床研究・治験の計画策定ならびに実施に必要な基本知識やコア・コンピテンシーのエッセンスを入門者でも習得していただくべく、「臨床研究推進啓発セミナー」を開講しています。

2021年9月30日(木)

参加費無料

要事前申込

18:00-19:00 Web配信形式での実施です。

対象：これから研究を始める若手研究者・研究支援者や大学院生、医師・歯科医師、看護師・薬剤師等のメディカルスタッフ、事務職員などの病院職員、学生
(学外の方も参加できます)

患者さんと薬をつなぐ絆になろう！

～臨床医が挑む医薬品開発～

千葉大学大学院医学研究院 脳神経内科学
三澤 園子 先生

臨床医の強みは、現場のアンメットニーズと患者さんをよく知っていることです。一方、臨床医の弱み？は臨床に忙しく、自分の力でシーズをイチから育てるのがなかなか現実的ではないことです。

ドラッグ・リポジショニングは既存薬を別の疾患に転用する手法です。多くはII相、III相試験を行うことにより、実用化することができ、開発の労力とコストを抑えることができます。また、効果的な臨床試験デザインの作成とオペレーション、症例リクルートメントを進めるのに、臨床の経験と人脈は圧倒的な力を発揮します。

本セミナーでは、ドラッグ・リポジショニングにより、2品目を医師主導治験で開発した経験を共有させていただきます。医師主導治験による医薬品開発は、現場のアンメットニーズを知る医療者だからこそ結べる、患者さんと薬をつなぐ絆です。医薬品開発にご興味のある医療者の方に、ぜひお聞き頂ければと思います。

▶ お申し込みはこちら → <https://education.ctr.hosp.keio.ac.jp/>



臨床研究教育研修 受講管理システムWebサイトより事前申込をお願いします。
お申込頂いた方には、別途、受講案内メールを送付致しますので、当日は受講案内メールに記載された参加URLよりアクセスの上、受講して下さい。

